

えでぴあ

立川と語ろう 立川に生きよう

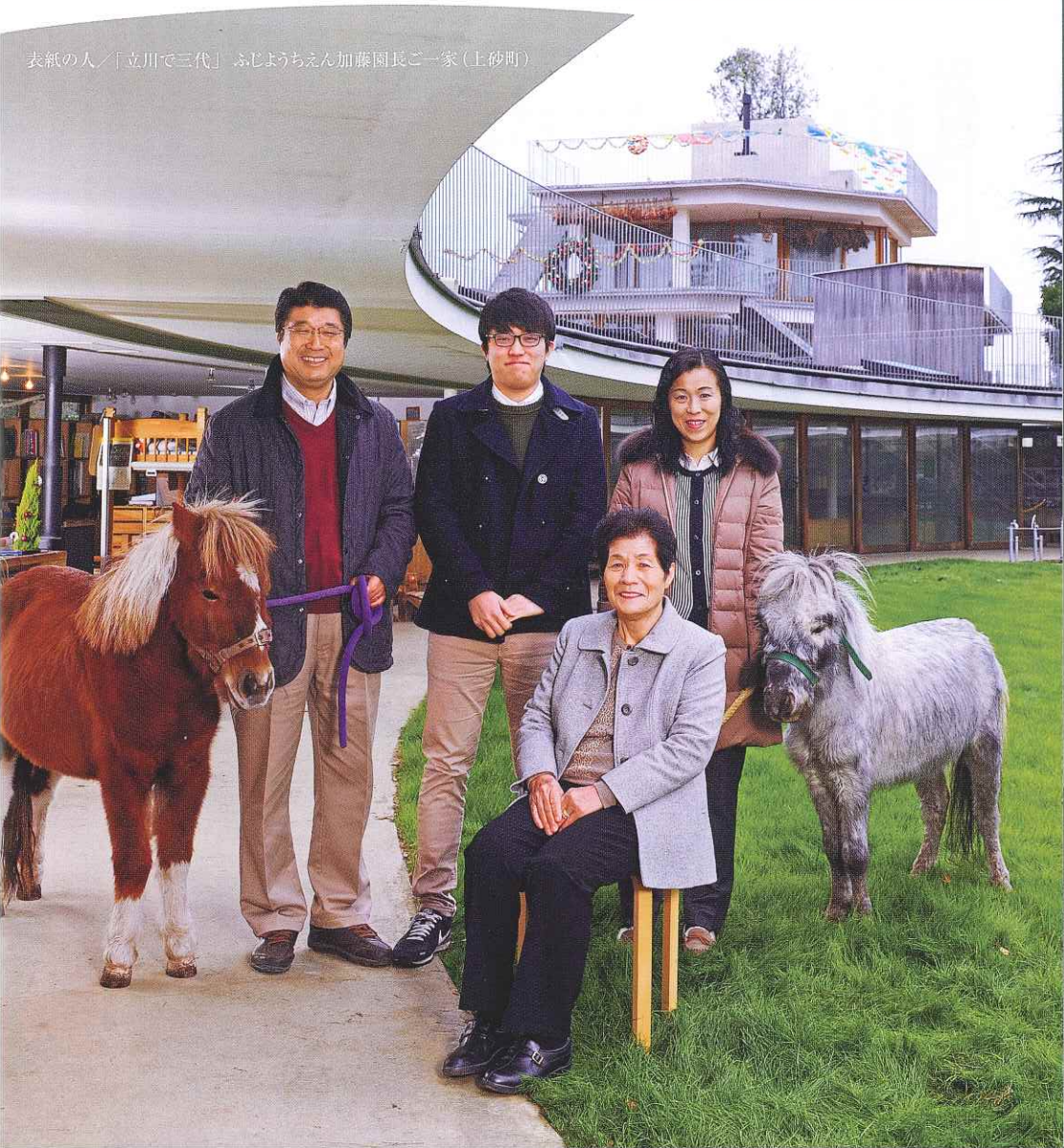
February 2016

Écoutez Bien Vol.34 No.375

2

拝観「正楽院大曼荼羅」

表紙の人／「立川で三代」 ふじようちえん加藤園長ご一家(上砂町)



『ららぽーと立川立飛』への道



野球場があった。ゴルフ練習場もあった。
桜並木で花見をしたこともあった。
ららぽーとができて、そこはにぎやかな街になる。

立川駅周辺に集中しない回遊性のある街づくり。交通網を整理しないまま始められた計画と言われたが、渋滞はどうだろうか。公共交通機関を利用してもらうための策を練り、車を流すための道路を作り、信号もつけた。なんとなく立川全体に人が増えたような気がするが、相乗効果なのだろうか。

えてびあん創刊32年の歴史を振り返っても、この地区に関する記事はひとつもない。あるはずもない。「開かずの立飛の土地」だった。平成24年に立飛ホールディングスとして生まれ変わった立飛が、地域社会に貢献する最初の形がこの施設。「ららぽーと立川立飛」の名前にその思いが表れている。

開業まであつという間だったが、その足跡を写真で追ってみたい。



何もなくなり建設が始まるまで市民を楽しませるために作られた噴水。
ららぽーともこの噴水のアイデアが活かしている。2014年5月19日撮影



現在は市役所北側広場で行われている白鷺消防隊訓練審査会 2009年9月17日撮影



野球場もゴルフ練習場も徐々に姿を消して行った 2013年12月12日撮影



しばらくブルーシートがかかったままになっていた 2014年9月27日撮影



2015年2月21日撮影



2015年2月21日撮影



当時都内に1台しか稼働していなかった500tのクレーン車



2015年2月21日撮影



2015年1月19日撮影



2015年3月11日撮影



2015年2月16日撮影



クレーン車は姿を消し、外側はほぼ完成に近づいてきた 2015年6月2日撮影

歌声が響き合う学校へ

七生緑小学校 Nコン3連覇への道

山の上の小さな学校に毎朝歌声が響いていると立川の地にも伝わった。早速取材をお願いするも「現役校長なので」とお断りされ数年。ようやくお話を聴けることになった今、その歌声は全国に響いている。

——矢野先生が最初に校長になられた学校が、**矢野** 百草台小学校です。百草台団地はかつて昭和30年代、憧れの団地だったそうですね。この団地に入るために抽選で大変だったと聞きました。当然児童も多かったわけで、学校は900人を超える大規模校で、校舎を増築、増築して対応してきたようでした。

——団地が人気だった時代がありましたね。**矢野** ええ。やがて親の時代が終わると徐々に入居者が減少し、エレベーターがありませんからね、高齢者のみの家庭は下の階に移り住まれるようになり、商店街も次第に閉じられる所が多くなりました。でも、地域の方は住まわれている所をなんとか盛りたてようと一生懸命でしたね。——先生が着任された頃の百草台小学校はどのくらいの規模だったのですか？

矢野 入学児童が少しずつ減っていく中であって、全校で100人を切ってしまう学校でした。行政がとった選べる学校制度もあって、児童数が少ないというだけで敬遠されてしまう。でも実際には先生方や保護者の方がとても頑張ってくださって、温かく家庭的な学校でしたね。先生方が全部の児童のことを知っていますし、上級生は兄弟のように下級生の面倒を見てくれました。人数は減っても学芸会・運動会・音楽会など学校行事はすべて大きな学校と同じように行いましたから、みんなが主人公になれる、主役になれる、そうした良さを活かした学校でした。

——理想的な教育環境かもしれないですね。矢野先生は、そこで子どもたちに向けてどんなことをお考えになっていたのですか？

矢野 できるだけ色々な経験や体験をさせてやりたいなと思っていました。山の落ち葉を集めて「カブトムシ」を1人ひとりに幼虫から飼わせたり、落語家を呼んで児童・保護者と一緒に聴いたり。数学者の秋山仁先生を呼んで、数

学の面白さを教えてもらったりもしました。お正月には全校児童で餅つきをして楽しむことができたのも、小さな学校だからこそだと思えます。——その体験活動の中に音楽があった。

矢野 幸いなことに、私が百草台小に赴任した同じタイミングで異動して来られたのが音楽の後藤先生だったのです。

——現在、七生緑小学校の合唱団を指導されている後藤朋子先生ですね。

矢野 後藤先生は以前から合唱の指導をされておられたのですが、異動されて間もない中であって、いきなり合唱団をということはなさいませんでした。子どもたちの様子、保護者や学校の協力など、様々なことを見ておられたのだと思います。

——ええ。**矢野** 私も歌が好きですから、私の方から後藤先生に、それまでされておられたように合唱団を作ることはどうだろうとお話しました。

——先生がおっしゃっているこの合唱団は、

学校のクラブ活動ですか？

矢野 いえ、合唱団は学校の教育課程に位置づけられたクラブではないのです。合唱の好きな子どもたちが集まって、学校という場を借りて後藤先生という指導者のもとで行っている音楽活動なのです。ですから、朝7時半くらいから毎日集まって、学校が始まる前の時間に練習します。また保護者が会の運営等に携わり支えています。そうした組織を作るのに保護者の方もご苦労されたと思いますよ。もちろん自校の子どもたちのみが対象ですから、学校が支援することは言うまでもありませんが、組織化するまでは、時間と合唱団の努力の積み重ねがあったと思います。

——現在の姿だけ見ると、こうあって当たり前、歌がうまくて当たり前なのですが、最初からみんな上手だったのですか？

矢野 合唱団を秋に結成して練習を始め、市内の小さな音楽会には参加しました。が、年が明けて新宿文化センターの大ホールに初めて上がった時のことです。忘れもしません。多くの観客の前で、今まで経験したことのない緊張の中で歌う合唱は、音程もテンポもうまくいかなかった。私も聴いていてなんとかしてやれないかなと思ったものです。

——そうでしたか…。

矢野 合唱の終わった子どもたちは泣いていました。その後藤先生は、このうまくいなくて恥ずかしい体験で子どもたちはどう考えるか、この合唱団の今後を任せてみようと思われたんでしょうね。子どもたちに尋ねました。「これからどうする？ やめる？」すると子どもたちは涙を流しながら「悔しい。もっとうまくなりたい。やる」と。子どもたちはすごいと思います。悔しさから本当の学びへと、自ら決めて進んだのです。

——素晴らしいですね。



矢野 優さん

昭和24年長野県生まれ。都留文科大学卒業。日野市の小学校管理職を歴任。百草台小学校の閉校までの5年間を校長として取り組み、その中で合唱団活動の土台になった。百草台小学校閉校後は夢が丘小学校の校長を2年務めて退職。

に1つのことにチャレンジするすばらしさを知ったのは人生の宝です。こうして合唱団が核となり、歌声の響く心豊かな学校になっていることは百草台小の誇れるところで」とね(笑)。

——先生も自慢の学校、子どもたちだったというのがよくわかります。その百草台小が三沢台小と統合し、七生緑小になっていくわけですが、統合

という壁をどう乗り越え一体感を繋いでいったのでしょうか？

矢野 新しくできる学校でしたので、1年前から学校交流活動を重ねてお互いを知る活動をしました。その中に音楽交流もありました。後藤先生と統合の相手校の音楽の先生とて話し合っていたら、三沢台小にも合唱団を作ってお互いに音楽交流をしながら、統合校となった時に合唱団としてひとつになり、すぐスタートできるようにお願いして進めていただいたのです。その合唱団が成果を上げることで新たな学校がひとつになり、統合当初のまとまりの推進力になったと思います。

——全国大会当日、テレビで合唱を聴きました。本当にすばらしい歌声の七生緑小合唱団でしたが、今、先生はどのような思いをお持ちですか？

矢野 本当にすばらしい合唱団だと思います。歌う練習をする以前に、曲のイメージや思いを絵で表したり、お互いに表現しあったり、実際に感覚的に体験したりして歌う心をつくることに多くの時間をかけています。思いを伝えるには言葉1つひとつをはっきりと表現するという、基礎的な努力を繰り返し繰り返し行っています。誰かに強制されるのではなく、自分たちで高め合っていくという自主的な活動が合唱団を支えていると思います。普段の活動の中に社会貢献活動を積極的に取り入れ、合唱を通して多くの人を笑顔にしているのです。1年の終わりの三学期には、お世話になっている地域の皆さまを招待してコンサートを開催し日頃の感

謝を表すのですが、これは百草台小時代からずっと続けていることで、学校と地域の架け橋になっていると思いますね。

今年の夏には、NHKの合唱コンクールの日程が続いている最中に、児童合唱ミュージカルに挑戦し、「太陽の歌」などすばらしい歌声を響かせていました。NHKの全国大会では3年連続の日本一ですが、そのうちの2回は演奏順番が1番だったんです。コンクールで最初に演奏するというのはそこが基準になってしまうので難しいと言われているのですが、それで金賞ですから、その実力は努力挑戦から生み出された本当に確かなものだと思います。

——そうですね。

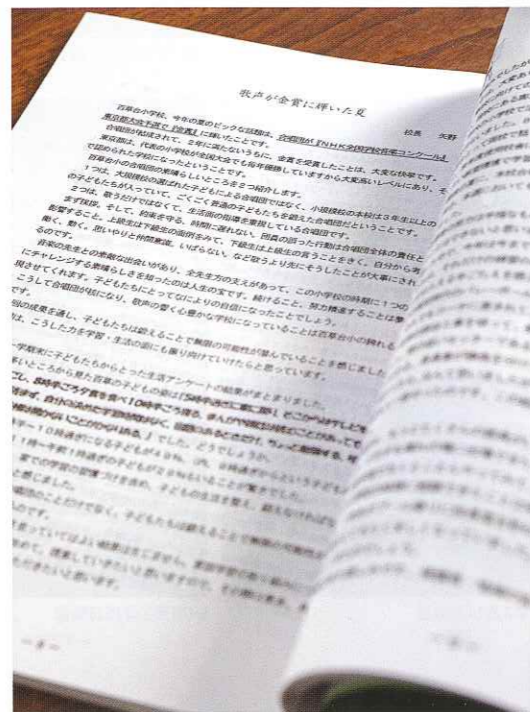
矢野 そして、もうひとつ。百草台小の時から七生緑小の今に至るまで、専属でピアノを弾き続けてくださっている畑野かん奈さんを忘れてはならないと思います。ボランティアで縁の下の力持ちに徹して下さっている。市の教育委員会も予算面など、支援して下さいありがとうございます。

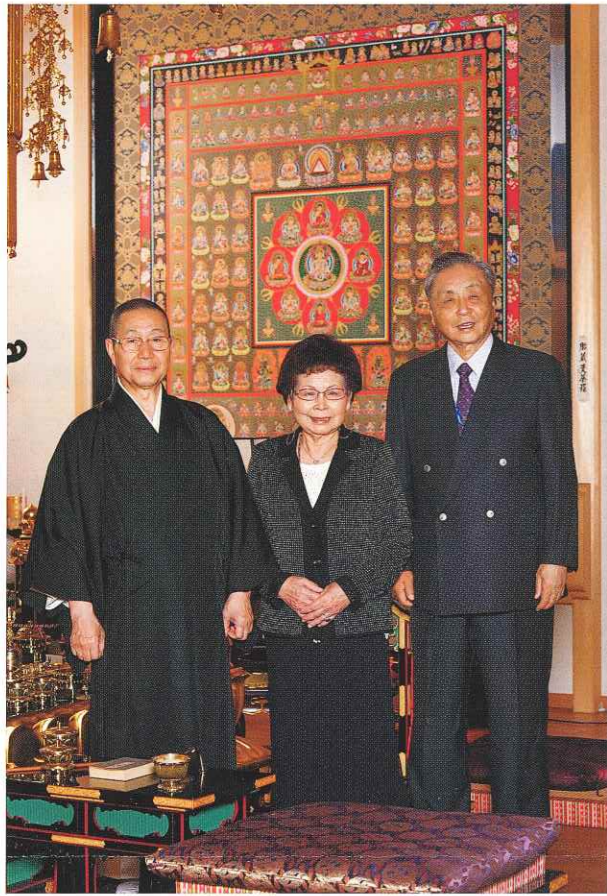
今の時代は私の時代から比べても、子どもや保護者の変化も多く、また事務的内容や教育内容も多くなって先生方も苦労されていると思いますが、七生緑小の合唱団のように、子どもたちは目標があって喜んで進めば、鍛えれば鍛えるほど伸びる無限の可能性を持っていると思います。その個性を輝かせていくお手伝いをさせてもらっているのが教育ではないかと思えます。子どもたちのよき未来のためご尽力いただきたいと願っています。

——本日はありがとうございます。

日野市立七生緑小学校

日野市の百草台小学校と三沢台小学校が統合され、2008年に創立、今年8年目を迎えた。百草台小学校時代から合唱団活動が盛んで、NHK全国学校音楽コンクール小学校の部、東京都予選大会で優良賞、翌年の優良賞を経て2007年銀賞を受賞。三沢台小学校と統合した七生緑小学校になって2008年に都の予選で銀賞、2009年に銅賞、2010年、2011年には全国大会で銅賞を、2013年からは3年連続金賞を受賞している。





左から、佐藤俊龍正楽院ご住職、岩崎 泉氏、絹子さんご夫妻



〔金剛界曼荼羅〕

諸尊悟りの境地
2.2m x 2mの大きさを、本堂内陣に常設されている正楽院大曼荼羅。
向かって左に金剛界曼荼羅、右に胎藏曼荼羅。
意味はわからなくても、拜すれば自ずと合掌の心になる。

拜観 「正楽院大曼荼羅」



仏教は多神教。たとえて言うなら、高幡のお不動様にお参りして成田山に参っても抵抗なく、こちらのお不動様よりあちらの阿弥陀様の方がいいと言われて行っても咎められない。これが日本の良いところだと佐藤住職はおっしゃる。これだけの大曼荼羅を奉納されたお寺は、三多摩にはこの正楽院しかないそうだが、もったいないといつて軸にして仕舞ってしまったらそれこそもったいない。正式な荘厳は常に飾っておくことだという佐藤住職の英断で常設されている。
今年が開創百年に向けての一步を踏み出された正楽院。徳積みの発心をされた檀家の皆さまとともにますます繁栄されるにちがいない。

正楽院大曼荼羅は、智山派の祖山である紀州根来寺に寄宿されている画僧 牧有恵師に制作を依頼。準備も含め九年の歳月をかけ平成二十三年五月に奉安された。図像は仁和寺御室版を手本とし、着色は東寺元禄本を参考にされたという金剛界曼荼羅に千四百六十一尊、胎藏曼荼羅には四百十四尊の仏様。大曼荼羅を正楽院に奉納したのは、岩崎泉氏、絹子さんご夫妻。ご夫妻のご好意で、えくてびあんもこの度拜ませてくださいたくチャンスを得た。

真言宗 智山派 立川山 正楽院。元は日野町下田（現在の万願寺辺り）にあった高幡山金剛寺の末寺で、村野家、笠井家、園部家、岩崎家の先祖が立川に迎えて昨年開創九十周年となった。三世現住職 佐藤俊龍和尚に案内され本堂を参拝する。隅々まで凜とした空気がいきわたっている。正面に智拳印を結んだ大日如来。左に十一面観世音菩薩、右に不動明王が祀られる。その左右、壁面に大曼荼羅が荘厳されていた。



〔胎藏曼荼羅〕

えくてびあんの輪

えくてびあんはリストのお店にあります。今月は 柴崎町・富士見町・緑町 のお店です。

- 柴崎町
- 小林歯科クリニック.....527-8217
- ビューティーサロン ウィスタリア 527-1116
- オリオン書房 サザン店.....525-3111
- WISH BONE.....527-7199
- 三船クリニック.....523-6693
- 西武信用金庫 立川南口支店 529-1311
- たましん 南口支店.....528-2211
- リオネットセンター立川.....523-3321
- りそな銀行 立川支店.....522-4161
- オリオン書房 アレア店.....521-2211
- ほっとすべす 中屋.....522-2932
- 立川ワシントンホテル.....548-3380
- Coffee Shop LARGO.....525-6704
- パッケージプラザ カサイ.....522-8601
- (株) けやき出版.....525-9909
- 手づくり ぎょうざ工房.....522-4770
- 喫茶 ガラリー花.....524-3668
- 髪理人 YOSHIZAWA.....522-5593
- の一か.....512-5415
- 矢沢歯科.....525-6600
- ラ・フリーズシュクレ.....525-3513
- キッチンコート立川店.....540-1131
- LaLaLa.....090-2564-3198
- スーパ・カフェ なんでもない日 523-5114
- 武本測量 (株).....524-7731
- 立川市柴崎市民体育館.....523-5770
- NPO 法人 東京賢治の学校 523-7112

- 富士見町
- (株) 浅見酒店.....522-2823
- 伊藤接骨院.....524-7861
- 手作りケーキの店 フティ・パニエ 529-8364
- さえき 西立食品館.....529-5333
- (株) ヤマダ電機 (法人).....526-1044
- ヤマダ電機.....526-1099
- ダイクマ 立川店.....526-1099
- 西村歯科クリニック.....519-9501
- 井上レディースクリニック.....529-0111
- 中華レストラン 東華園.....529-0458
- 榎本調剤薬局.....526-2322
- 有料老人ホーム サンピナス立川 527-8866
- 飯塚花店.....522-5684
- うさぎ専門店 ラッキーラビット 524-6054
- (株) ホームー.....522-2220
- カフェ 貸しホール ばくだん畑 522-2214
- Café Cuisson.....090-6935-1227
- 波多野米店.....522-2884
- 立川市社会福祉協議会.....529-8323
- 桜井電材 (株).....523-5281
- 立川市歴史民俗資料館.....525-0860
- 乙黒東洋整骨院.....523-1859
- インテリア アイアイ.....522-5972
- たましん 富士見町支店.....528-1741
- 滝ノ上米店.....522-4019
- ESPOA おぎの.....522-4500
- 建築リフォーム (有) 日防商会 0120-263821
- (株) 立川印刷所.....524-3268
- 調剤薬局 団地の薬局.....524-4893
- 松栄寿司.....524-6958
- ふじみ食堂.....523-4791

- 緑町
- 国立国語研究所.....540-4300
- 国立極地研究所.....512-0652

jorakugajo

真如苑提供番組〈常楽我浄〉

スカパー! : 529ch

スカパー!で放送の常楽我浄はスマートフォンアプリ「ivy」(無料)で視聴できます。

J:COM 多摩 : 111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

街の話題

タウンネーミングは〈立川タクロス〉

「多くの人がかこ立川で交わり、大きな賑わいが生まれ続ける場所になる」——ネーミングに込められた思いです。立川駅北口西地区に姿を見せている立川で一番高い建物がそれ。地下2階、地上32階、うち住宅部分は319戸、店舗や事務所、駐車場などが入り、本年7月に竣工予定。清水市長は銀座通りの渋滞を心配されていましたが、ますます賑やかになりそうですね。



タチカワへの愛で街を作れ! によきによきウドラ

立川市公認なりそこねキャラクター「ウドラ」のことは、もう皆さんご存知でしょう。そのウドラのボードゲーム「によきによきウドラ」80個を12月8日(火)、株式会社壽屋が青少年の健全な育成を目的として、立川市の児童保育施設に寄贈しました。写真は寄贈の様子です。

このボードゲーム「によきによきウドラ」は、ボードゲームが楽しめる南口のカフェ ペンタメローネさんが創りました。立川愛に満ちたゲームで立川観光協会の推奨認定品にもなっています。



清水市長(右)と清水一行壽屋社長 立川市役所 市長室で



によきによきウドラ



寄贈式後、市長と談話 (右から清水一行壽屋社長、ペンタメローネの高井泉さん)

立飛のヤギは冬休み満喫中

立飛のヤギさんたち続報です。立飛HDの村山正道社長は「ヤギたちはどうしているかな」とその後の様子を見に行かれ、写真におさめて来られました。広い所でのんびりと過ごしているようです。改めて思ったのですが、ヤギって階段を上れるんですね。写真は河口湖のヤギさんです。



写真提供: 村山正道社長

5月29日の東京ブロック大会に向けて 青年会議所×立飛HD

立川青年会議所では、2016年5月29日(日)に立川駅北口会場で「第45回東京ブロック大会 立川大会」を開催します。今大会は15年ぶりに立川で開催されるものらしく、2万人規模の来場者を予定しています。地域と一体となって創りあげたいと、この度協力企業である立飛HDを訪問。改めて立飛の保有するみどり地区(ヤギのいたところ)の貸出、ならびに復元飛行機の展示などを確認していました。当日は立飛のみどり地区をメイン会場に、サンサンロードでは飲食ブースや地域企業とのタイアップ企画を実施、女性総合センター・AIMでは各種フォーラムを開催予定。立川の総力をここに集めて一大イベントを創りあげたいと青年会議所の中川夕香理事長はおっしゃっていました。



右から 村山正道立飛HD社長 中川夕香立川青年会議所理事長 青年会議所メンバーの皆さん

ダイヤモンド富士の季節です

えくてびあんでは毎年この時期に「立川から見えるダイヤモンド富士」の写真を掲載しています。えくてびあんの定義は「夕陽の底辺が富士山の山頂真ん中に来る」もの。いかがですか?



2015年12月9日撮影

立川学術プラザ@アキバ・スクエア

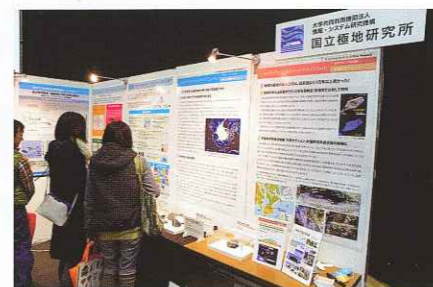
11月29日(日)、秋葉原のアキバ・スクエアに日本を代表する21の研究機関が集まりました。「研究者に会いに行こう!」と題された大学共同利用機関シンポジウム2015に、立川から国文学研究資料館、国立国語研究所、国立極地研究所、統計数理研究所が参加。研究者トークではそれぞれ15分という持ち時間を使って、研究者21名が専門分野の話を通し研究の面白さを伝えてくれました。各ブースには研究者の方々が複数いらして、質問に直接答えてくれます。立川にいてもなかなかお目にかかれない統計数理の樋口所長、国文研の今西館長にもお目にかかることができたのは幸運でした。このイベントは毎年開催されているそうです。



統計研ブース前、樋口知之所長



国文研ブース前、今西祐一郎館長



極地研ブース

表紙の人

加藤俊子さん、積一さん、久美子さん 平一朗さん、はる&シルバー

昭和46年1月に開園して昨年45周年のふじようちえん。今や「世界で一番有名な幼稚園」と言われ、平成10年には学校法人に、平成21年には認定こども園となって広く地域に貢献されています。幼稚園の園児は630名。先生は63人で、男性の先生も外国人の先生もいらっしゃいます。園舎は上から見るとちょっとゆがんだ楕円形。木張りのデッキ屋根に上がると、すっきり富士山が見える広々とした空間。行き止まりのない楕円を子どもたちが走り回る。なんてステキなんでしょう。豪快でパワフルな積一園長。傍らにはしっかり者の久美子副園長。息子さんはお二人で、法学部に通う長男の平一朗さんとカナダで英語を学んでいる次男の光二郎さん。園長のお母さま、俊子さんは元武蔵村山市議会議員 福高庄治さんのお姉さまです。幼稚園にはポニーのはるとシルバールがいて、お誕生日の園児は乗ることができるのだとか。「気持ちいい」「わくわく」「はてな?」がいっぱいの幼稚園でした。



かたこと

◆早いものでもう2月号です。表紙モデルになってくださった加藤園長、世界のあちらこちらから引っ張りだこの講演続き。世界一有名だからって派手なわけではありません。上砂町に不思議な円形の園舎を設けて、窓にはたくさんさんの干し大根、中庭には青々とした芝生。真夏と真冬以外は開けっ放しの職員室。園長の席の前には桶に入ったどんぐりとどじょう。裸電球に蛇口をひねらないと出ない水。きちんと閉めない隙間風が入ってくる扉。あての不便が工夫を生む。園長はそれを「懐かしい未来」とおっしゃっていました。ちょっと昔をやるのが幸せな未来をつくる。道理を知って機能を使える人間に育てていく教育なのだと感じました◆教育は幼稚園から小学校へと進みます。七生緑小学校の合唱団の土台を作った百草台小学校。今の栄光は、約10年前の6年生の決断から始まっている。教育は年代を越えて繋がっていくのでしょうか。善き師に出会えた子どもたちは本当に幸せです◆善き師といえば、昔はお坊さまがいろいろなことを教えてくれました。今でもお坊さまは博識です。昨年90周年を迎えた正楽院。ご住職にお話をうかがうと、いろいろなことを教えてくださいました。正楽院では茶道教室も開いています。えくてびあんも一期一会を大切にしていきたいと思っています。

えくてびあんスタッフ一同

おじゃまして〜す! [43]

和 やま田

玉川上水沿いにある立川の有名店。昨年12月号の表紙になっていただいたところ、お問い合わせが多く、それならばお店情報を掲載しようということになりました。「いくらあれば食べられるの?」「高いんでしょ?」と聞かれます



香ばしい白子の揚げ焼き

が、3000円+税のランチコースは大満足。どのコースもメインはお父さんの握る江戸前寿司です。「旬とか粋とか、それが江戸前だったんだね、最近事情は変わったね」とおっしゃいますが、イカに緑のとびこが乗っていたり、アボカドがあしらわれていたり、見た目美しく舌においしく、いただく方は嬉しい限り。息子さんはサラダやスープ、季節の一品、デザートをご担当。いづれかがってもサラダの色は鮮やかで、焼き物の香りも豊かです。スープとデザートは歯触りや舌触りが楽しい。この日のサラダはオレンジと新鮮野菜。てっぺんに乗ったディルがいい味出しています。お皿は白子の揚げ焼きですが、外はサクサク、中はふわとろ、焦し醤油とバジルソースでいただきました。付け合せはクワイの素揚げ。このパリパリ食感がたまらない。デザートに登場したのはパンアイス。いずれも贅沢なお味ですが、お値段はリーズナブル。なにはともあれ、一度召し上がってみてください。要予約です。

野菜もお肉もお魚も!



〒190-0023 立川市砂川町3-17-36 TEL 042-537-1724 営業時間 11:30~14:00 17:00~22:00 定休日 第3火曜日と毎週水曜日

えくてびあん®

2月号 第34巻 通巻375号

平成28年2月1日発行 発行 有限会社えくてびあん 〒190-0023 東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065 E-mail message@tamatebakonet.jp URL http://www.tamatebakonet.jp 発行人 黒須環 企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ デザイン 池田隆男 (WATER DESIGN ASSOCIATES) 印刷 三浦印刷株式会社

無断転載を禁じます。



見た目よりたっぷりのサラダとメインのお寿司



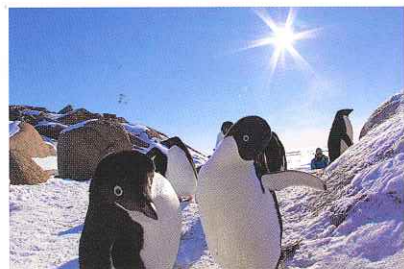
街中に心安らぐ空間を

幸町に〈CHABOHIBA HALL〉ができました。オーナーの小峰美子さんは「自分の住んでいる街にこうしたすてきな空間があるといいなと思って作りました」とおっしゃいます。シンボルツリーは中庭にあるチャボヒバ。立派に成長した木やホールの背景にある坪庭の石、玄関周りの水盤の井戸水などは以前ここにあった邸宅の面影を残しています。オーナーの思いをこらしたすてきなホール。コンサートはもちろん、その他の目的でも多岐に渡って使用できそうです。貸出開始は2016年4月から。詳細は2016年2月中旬よりHPにて公開予定。http://chabohiba.jp/



冬の企画展示『南極・北極写真館』開催中！

国立極地研究所 南極・北極科学館では、2016年2月29日まで、冬の企画展示『南極・北極写真館』を開催しています。動植物やオーロラ、氷河や地形、気象現象など、南極地域観測隊の隊員や北極研究者が調査・観測の合間に撮影した、極地ならではの貴重な写真が展示されています。作品点数は約150点。南極の転がる太陽やかわいいアザラシの親子。北極の美しい草花や山並み。緑色のオーロラが見られる惑星は地球しかないようですが、その神秘的な様子の写真も。入館料は無料、10時から17時までですが、最終入館は16時半です。日曜、月曜、祝日はお休みです。



第五十五次南極地域観測隊
金田祐隊員撮影



国際北極環境研究センター准教授
内田雅己氏撮影

サイエンスカフェ@シネマ2

サンサンロードのイルミネーションを借景に、シネマカフェでサイエンスカフェが行われました。タイトルは〈オーロラの覚醒 太陽のダークサイドに操られ〉。折しも翌日に「スター・ウォーズ/フォースの覚醒」封切を控えた12月17日。講師の先生は国立極地研究所 宇宙空間研究グループ 准教授の片岡龍峰氏。画面を指し示すポインターをライトセーバーにしたかったとおっしゃるスター・ウォーズファン。えてびあんで昨年「この2年くらいがオーロラのピーク」と記事にしました。片岡先生曰く2015年、2016年がピークでその後はバッテリー見えなくなるのだとか。オーロラを見たい方はこの冬がお勧めです。この日の会場は満席。立見も出るほどで、高校生や中学生の姿もあり勉強熱心な方々の静かな情熱を感じた90分でした。

